



声かけするのは誰？

関東私鉄線内で視覚障害者がドアに手を挟まれたまま引っぱられる事故が発生しました。ドアから手が抜け転倒しましたが打撲で済んだのは幸いとも言えます。その駅は改札に社員はいますが別の旅客に対応中で改札を白杖で通過したことに気が付かなかつたとのことです。

社員の積極的な声かけだけではなくお客様にも協力をお願いする内容の通達文書が再度配信されました。その一方で「声かけサポート……」実施中の7月中旬頃より蘇我駅は初電から終電までの間、トータルで10時間ほど窓口を閉鎖しています。このことは運輸区にも駅にも知らされていませんでした。お客様に協力をお願いしながら声をかけるべき社員のいる窓口を閉鎖と言うのは矛盾



た

以外の何物でもありません。

蘇我運輸区の情報誌でも触れていますが閉められたカーテンの奥で行われている実態のよくわからない「企画業務」を社員自らが発案し、超勤手当を払わずに済む会社の思惑が一致しての窓口閉鎖は正直理解に苦しみます。

輸送混乱の果てに

果てに

8月9日、台風崩れの熱帯低気圧の影響で強風が吹き荒れ、京葉線・武蔵野線に大きな影響が出ました。速度規制区間が数か所に及び14時頃から16時頃まで東京



た

蘇我と武蔵野

線は西船橋までが運転中止となりました。輸送混乱時は指令の腕がモノを言いますがこの日の指令は……



18時台後半まで西船橋～南船橋間だけは再開されず一方的に運休の電報が発信されるだけでした。直接聞いても「風が強く再開しても抑止になるかもしれないから」と今まで聞いたことの無い言い訳しかせず西船橋方面のお客様は市川塩浜での乗換え案内も駅自身で判断するしかありませんでした。ようやくの運転再開も始発(出区)の新習志野の信号所との

確認や、指令電報で運休かどうかを判断するしかなく指令からはほとんど情報がありませんでした。

ダイヤが平伏すれば問題はありませんが終電に絡む時間帯は指令の判断がより重要になります。利用するお客様の立場になって乗継のことを考えてくれればいいのですが残念ながらタクシー代行が発生しました。新型コロナウイルスの影響で収入が落ち込み、経費削減を迫られている中、防げるかもしれない無駄な出費と社員の労力は考えものです。

千葉地本
HP開設!



次回非番者集会
10月8日(金)